

RED HAT JBOSS ENTERPRISE APPLICATION PLATFORM

データシート

機能

- 完全認定された Java EE 7 および Java SE 8 のサポート
- 完全な Web サービススタック
- コンテナおよびクラウドのデプロイに最適化されたモジュールアーキテクチャ
- エンタープライズ向け機能 (フェイルオーバー、分散キャッシュ、インテリジェント負荷分散、クラスタリング、分散デプロイなど)
- 生産性とパフォーマンスを最大限に引き出す統合開発環境

利点

- 市場投入時間の短縮による新しいビジネス価値の迅速な創造
- 開発者の生産性の向上
- 柔軟な管理機能
- あらゆる環境での Java EE 開発とデプロイの完全サポート
- システムオープンゲージメントの迅速な再構築と更新

課題

今日では、競合他社との競争に勝てるかどうかは、どのアプリケーションを使うかにかかっています。従来よりも速いペースで革新的なアプリケーションを開発およびデプロイする必要があるため、より多くの開発リソースが必要となってきます。DevOps、マイクロサービスアーキテクチャ、およびコンテナを導入すれば、Web スケールのパフォーマンスに対するニーズを満たせる高品質なアプリケーションを迅速に提供できるようになります。ただし、こうした最新のアプローチに対応することは、同時に、アーキテクチャ、プロセス、テクノロジープラットフォームも見直すことになります。

あらゆる環境 (オンプレミス、クラウド上、ハイブリッドなど) でのセキュアな Java[™] Enterprise Edition (Java EE) アプリケーションの継続的な開発、テスト、デプロイをサポートするとともに、競合他社との競争において最適なアーキテクチャや開発プロセスが使用可能なアプリケーション開発プラットフォームが必要です。

製品の概要

Red Hat[®] JBoss[®] Enterprise Application Platform 7 (JBoss EAP) は、あらゆる環境での最新の Java アプリケーションに対応した、市場をリードするオープンソースプラットフォームです。^{*1} JBoss EAP のアーキテクチャは、革新的なモジュールアーキテクチャのクラウド対応アーキテクチャです。強力な管理および自動化機能を提供し、開発者の生産性向上を実現します。オープンソースの Wildfly プロジェクト (旧 JBoss Application Server) をベースにしています。

JBoss EAP は次のような機能を備えています。

- 高可用性クラスタリング
- 分散キャッシュ
- メッセージング
- トランザクション
- 完全な Web サービススタック

このように、JBoss EAP は、開発者にとって使い勝手のいいテクノロジー、高い生産性、そして柔軟なデプロイを必要としている組織 (特に信頼性やセキュリティ、コンプライアンスの要件が厳しい場合) に最適なプラットフォームとなっています。JBoss EAP を採用すると、HTML5 モバイルアプリケーションやマイクロサービスアプリケーションから、Java EE プログラミングアプローチを利用したトランザクション機能を重視するアプリケーションまで、さまざまな Java アプリケーションに対応できます。また、より迅速かつ柔軟にビジネス価値を提供できるため、コスト削減、短期間での容易なスケールアウト、IT の簡素化につながります。

Red Hat JBoss Enterprise Application Platform

統合開発環境

ライブラリロード、ソース制御の統合、デバッグ、メモリアナライザー、統合テスト、OpenShift ツール、ビジュアルエディター、モバイルツール、その他。

認定 Java EE アプリケーションサーバー

Web サーバー、クラスタリング、トランザクションメッセージング、バッチ処理、セキュリティ、WebSocket API、REST、Web サービス、その他。

管理

管理、設定、管理、バッチ適用、監視、プロビジョニング、その他。



facebook.com/RedhatJapan
twitter.com/RedHatJapan

jp.redhat.com

^{*1} 2013 Gartner Magic Quadrant for On-Premises Application Platforms

「(Red Hat) JBoss Enterprise Application Platform は、当社のビジネスニーズに合わせていました。柔軟なデプロイが可能で、拡張性が高く、コスト効率に優れていて、他のプロプライエタリソリューションと同等かそれ以上となるエンタープライズクラスのパフォーマンスを実現しています」

TATA SKY
最高情報責任者
N. RAVISHANKAR 氏
<http://red.ht/1zcqZ9A>

特長と利点

コンテナおよびクラウド向け JAVA 機能

JBoss EAP は、オンプレミス、仮想、ハイブリッドクラウドなどの最新のアプリケーション環境で、JavaEE アプリケーションのフルサポートおよびデプロイの柔軟性を提供します。OpenShift by Red Hat、Microsoft Azure、Amazon Web Services などのクラウド環境に最適化されています。

従来のアプリケーションから新しい Web スケールのマイクロサービスアプリケーションまで幅広く要件を満たせるため、JBoss EAP で標準化すれば、ビジネスニーズに合わせてアプリケーションを構築するのに必要な柔軟性が得られます。^{※2}

JBoss EAP 7 とは：

- **サービス駆動型のコンポーネント採用で、柔軟なモジュールアーキテクチャ**をベースにしたアプリケーションプラットフォームです。さまざまな環境でアプリケーションデプロイを簡素化できます。
- **従来のアプリケーションに加えて、マイクロサービスにも適しています。**
- **効率性が高く、メモリフットプリントも極めて小さくなっており、コンテナおよびクラウドのデプロイに最適化されています。**また、高速起動、効率的なリソース利用、ポート使用数の削減を実現し、HTTP(REST) での管理および監視機能も備えています。
- **リソース効率の高いスケールアウト**によって高密度デプロイオプションおよび動的なスケールリングを提供し、アプリケーションの進化と拡大を支援します。

DEVOPS の生産性と継続的な提供

Red Hat JBoss Enterprise Application Platform とともに一般的な DevOps ツールを使用することで、開発チームと運用チームの生産性の最大化、品質問題の削減、新しいアプリケーションの市場投入期間の短縮が見込めます。

JBoss EAP の開発者にとっての利点：

- **JBoss EAP と Red Hat OpenShift Enterprise** で、迅速にプロトタイプを作成できます。OpenShift Enterprise クラウド環境では、セルフサービスのアプリケーションプロビジョニング、簡素化されたスタック管理、アプリケーションの自動スケールリングなどの機能によって、生産性の向上とイノベーションの推進を実現できます。
- **統合テストの Arquillian、構築プロセスの自動化および管理の Maven、継続的な統合の Jenkins** といった、継続的なテストおよび統合テクノロジーを利用できます。
- **一般的な Java EE 7 の Web ベースフレームワーク** (Spring、Spring Web Flow、Spring WS、Spring Security、Arquillian、AngularJS、jQuery、jQuery Mobile、Google Web Toolkit (GWT) など) と統合したアプリケーションを構築できます。

^{※2} <https://www.redhat.com/ja/resources/idc-whitepaper-value-jboss-eap>

柔軟な管理機能と統合管理

JBoss EAP では、あらゆる規模の Java EE デプロイを簡単かつ効率的に保守および更新できます。JBoss EAP は直観的なナビゲーションと大規模なドメイン設定のサポートを含む最新の管理コンソールを備えています。

また、最新のコマンドラインインターフェース (CLI) を使用した管理機能では、設定およびサブシステムを迅速に一元表示し、オフラインでサーバーを管理できます。CLI は、Ansible Tower by Red Hat や Puppet などの一般的な設定管理ツールと併用できます。管理コンソールと CLI を組み合わせることで、XML 設定ファイルの編集が不要になります。また、新しく追加されたサーバーサスペンドモードを使用すれば、サーバーの保守作業による業務への影響を最小限に抑えられます。

エンタープライズ向けのパフォーマンスと安定性

JBoss EAP はトランザクション機能を重視するアプリケーション向けにパフォーマンスチューニングされています。このため、イノベーションを進めながらも、厳しいコンプライアンス、セキュリティ、および法規制に準拠することができます。

JBoss EAP のアーキテクチャと優れた機能を利用すれば、次のような最も厳しいパフォーマンス要件にも対応できます。

- **幅広い Java アプリケーション要件。** Java EE 7 コンプライアンス、最新のオープンスタンダードとの統合、およびフェイルオーバー、高可用性クラスタリング、分散キャッシュ、インテリジェント負荷分散、分散デプロイなどの機能の追加。
- **何百万もの接続がある環境でのスループットと拡張性。** 拡張性に優れたノンブロッキング I/O (NIO) Web サーバーの Undertow で、最大限のスループットと拡張性を提供します。Undertow はマルチプラットフォームロードバランサーとして機能するように設定することもできます。
- **レイテンシーの削減と読み込み時間の短縮。** HTTP/2 標準のサポート (JBoss EAP 7 テクニカルプレビューに搭載) によってヘッダーが圧縮され、単一のトランスミッションコントロールプロトコル (TCP) 接続上でデータストリームが多重化されます。また、HTTP/2 ではリクエストされる前にサーバー側からクライアントにリソースを送信できるため、ページ読み込みの高速化につながります。

JBoss EAP に移行

IBM WEBSHERE または ORACLE WEBLOGIC アプリケーションサーバーからの移行

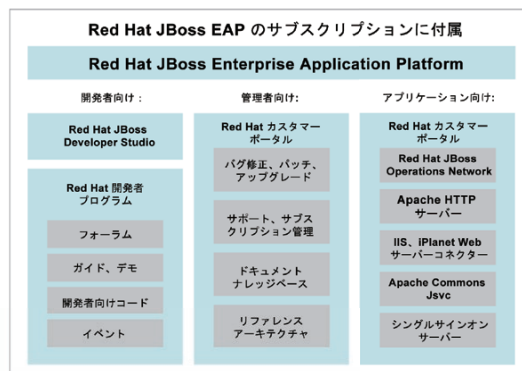
JBoss EAP に移行した組織は、3年間で 509% の投資収益を達成し、年間の開発アプリケーション数は 70% 増加、アプリケーションあたりの開発者の作業時間は 35.5% 短縮されました。^{※3} IBM WebSphere または Oracle WebLogic アプリケーションサーバーから JBoss EAP に移行する場合は、Red Hat コンサルティングにご相談ください。Red Hat コンサルティングでは、スムーズな移行のための方法論、ツール、ファクトリーサービスを含む充実したサービスをご用意しています。

相互運用性を含むアップグレードのサポート

JBoss EAP 7 では、移行作業によって JBoss EAP または Wildfly の旧バージョンからのアップグレードを速やかに行えます。JBoss EAP 7 は既存の JBoss EAP 6 環境との相互運用が可能であり、最新のプロトコルバージョンサポートとツールが利用できます。新しいメッセージングサブシステムは Red Hat の統合メッセージングテクノロジー Apache ActiveMQ Artemis をベースにしています。ActiveMQ Artemis は、JBoss EAP 6 と JBoss EAP 7 間のメッセージのやり取りを可能にしながら、JBoss EAP 6 の HornetQ が持つパフォーマンス、拡張性、信頼性を維持しています。

※3 <https://www.redhat.com/ja/resources/idc-whitepaper-value-jboss-eap>

JBOSS EAP の付属ツール



JBoss EAP サブスクリプションは、エンタープライズ Java アプリケーションの開発、構築、テスト、デプロイ、保守に必要なものをすべて備えています。さらに、次のような利点もあります。

- 既存のアプリケーションの効率性を高めることができる
- 自社のペースでアプリケーションをクラウド環境に移行できる
- ハイブリッド環境内でデプロイを拡大できる柔軟性がある

JBoss EAP サブスクリプションは、アプリケーションサーバーのサポートのみにとどまらず、Red Hat の優れたエコシステムへのアクセスも提供しています。ツール、サービス、サポートの包括的なパッケージであり、開発者および運用スタッフのビジネスアジリティと生産性を高めることができます。アプローチや戦略、ビジネス機会が制限されてしまうような複雑な製品は避けましょう。JBoss EAP なら可能性がどんどん広がります。

RED HAT JBOSS CORE SERVICES COLLECTION がミドルウェアの運用管理およびツールを提供

JBoss Core Services Collection は、Red Hat JBoss Middleware テクノロジーで構築されたアプリケーションでよくデプロイされる多くの機能の使用権を提供します。JBoss Core Services の使用権は、JBoss EAP (およびその他多数の JBoss Middleware 製品) のサブスクリプションに無料で含まれています。サブスクリプションをご購入のお客様は、JBoss Core Services Collection のフルサポートを受けることができます。これにはオンラインサポート、電話サポート、更新、パッチ、セキュリティ問題の修正が含まれます。

JBoss Core Services Collection には、ご利用の JBoss Middleware 製品すべての一元的な管理、監視、メトリクスを提供する Red Hat JBoss Operations Network が含まれます。JBoss Operations Network は、運用効率の向上、コスト削減、そしてよりよいユーザーエクスペリエンスを提供します。また、JBoss Core Services Collection は、JBoss EAP アプリケーションで受信した Web リクエストを処理するための Apache HTTP サーバーの使用権も提供します。

JBoss Core Services Collection には次のコンポーネントが含まれます。

- JBoss Operations Network
- Apache HTTP サーバー
- シングルサインオンサーバー
- Apache Commons Jsvc
- Microsoft Internet Information Services (IIS) コネクタ
- Oracle iPlanet コネクタ

クラウド環境で Java アプリケーションを迅速に開発、ホスト、拡張
OpenShift by Red Hat 製品については、Red Hat のセールス担当者までお問い合わせください。

JBoss EAP に移行
Red Hat コンサルティングの詳細はこちら
<https://www.redhat.com/ja/services/consulting>

JBoss EAP の購入方法
JBoss EAP は一般に Red Hat および世界中のパートナーから入手できます。

RED HAT JBOSS DEVELOPER STUDIO による統合開発環境

Red Hat JBoss Developer Studio はバンドルされた Eclipse 統合開発環境 (IDE) であり、豊富な Web アプリケーションおよびエンタープライズアプリケーションの開発、テスト、デプロイ向けツールを備え、開発ライフサイクル全体をサポートします。JBoss Developer Studio には、ツール機能と複数のプログラミングモデルおよびフレームワーク (Java EE 7、Enterprise Java Beans (EJB)、Hibernate、RESTful Web Services、Java アプリケーション、その他多数) のサポートが含まれています。Red Hat JBoss Middleware 製品で開発やテストを行うために複数のサブスクリプションを購入したり、サポートを受けるために本番環境向けサービスレベル契約 (SLA) の費用を支払ったりする必要はありません。Red Hat のサブスクリプションにはすべてが含まれています。

DEVELOPERS.REDHAT.COM をご覧ください

Red Hat の OpenShift Online で Red Hat JBoss EAP をお試しください。Platform-as-a-Service (PaaS) 環境での Java EE アプリケーション開発には大きな利点があります。プロビジョニング、管理、拡張といった業務から解放され、重要な Java アプリケーションコードの作成に専念できます。

詳細はこちら: <https://developers.openshift.com/en/xpaas.html>

Red Hat JBoss Enterprise Application Platform のご利用をお考えですか? Red Hat 製品はすべてオープンソースなのでインストールも、デモの実行も、概念実証も可能です。購入前に安心してソフトウェアをお試しいただけます。

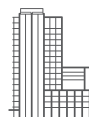
詳細はこちら: <http://developers.redhat.com/products/eap/overview/>

豊富なリソースのライブラリをご確認ください。 Web セミナー、チュートリアル、またはデモを通じてすぐにご理解いただけます。

詳細はこちら: <http://developers.redhat.com/products/eap/learn/>

ご参加ください。 オープンソースソフトウェアは皆様のものです。ブログ、ユーザーグループ、コードの提供、次期リリースのテストなどにご参加ください。

詳細はこちら: <http://developers.redhat.com/products/eap/community/>



RED HAT について

オープンソースソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備えるクラウド、Linux、ミドルウェア、ストレージおよび仮想化テクノロジーを提供、さらにサポート、トレーニング、コンサルティングサービスも提供しています。Red Hat は、お客様、パートナーおよびオープンソースコミュニティのグローバルネットワークの中核として、成長のためにリソースを解放し、IT の将来に向けた革新的なテクノロジーの創出を支援しています。



facebook.com/RedhatJapan
twitter.com/RedHatJapan

jp.redhat.com
V1_201608

レッドハット株式会社

〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿 4-1-18 恵比寿ネオナート
TEL : 03-5798-8500 (代表)
<http://www.jp.redhat.com>

製品・サービスについてのお問い合わせ

セールスオペレーションセンター (SOC)
TEL : 0120-266-086 受付時間 9:00 ~ 17:30 (土・日・祝日・年末年始を除く)
携帯電話からは 03-5798-8510
E-mail : sales-jp@redhat.com